

締めくくりに向けて

早いもので入学から3か月がたちました。休み時間などで、別の出身小学校の生徒同士で仲良くおしゃべりしている様子を見ると、中学校生活に完全に慣れたのではないかと思います。しかしその一方で、現在の学年の様子を見ていると、テスト後から何となくワサワサしているようにも感じます。気の緩みからの失敗につながらないように十分注意して生活してほしいと思います。特に交友関係においては、4月に新しい出会いがあった後、時間が経過したことでお互いの事がわかり、その分遠慮がなくなってくる頃でもあります。昨今は特にSNSを通じての人間関係のトラブルが頻繁に起きています。現在、道徳の授業を通して「いじめ問題」について集中的に取り組んでいますが、そこで考えたことも参考にしながら、自分の言動に責任をもち、しっかりと判断した上で行動できるようにしましょう。また、来週月曜日には1学期の振り返りを行います。そして再来週から三者面談も行われます。じっくりとこの3カ月を振り返ることのできる良い機会です。この週末を利用し、4月に比べて成長できた部分はどこなのか、やろうと思っていたけどできなかったことは何なのか、改善しなければならないことは何なのか、次学期の目標は何なのかを考えておいてください。

【 當麻 】

道徳「傍観者でいいのか」

6月30日(水)の5校時に、「傍観者でいいのか」という道徳教材で授業を行いました。

学級委員の「私」は、AさんがBさんやそのグループの仲間と行動をともにする様子を見ながら、違和感を持ちます。Aさんが、Bさんの荷物を持って登校したり、Bさんからみんなの前でからかわれたりしているにもかかわらず、笑っておどけているのを見て、「断ればいいのに。」「おこればいいのに。」と思っていました。少しずつ、BさんたちとともにAさんのことをからかう生徒が増え、Aさんは学校を休みがちになってしまいます。CさんはAさんのことで相談を受け、やはりAさんはつらい思いをしていたのだと気づきます。いじめが続いたり、広がっていったりするのは、「いじめ人」だけでなく、いじめを「はやし立てる人」や「見て見ぬふりをする人(傍観者)」がいるからです。私は知らずのうちに「傍観者」となっていたのです。



「見て見ぬふりをする」のはどうしてなのでしょう。生徒からは「笑っていたから本当にいじめられているのかわからない。」「注意したらいじめのターゲットが自分になるかもしれない。」「正直、どうすればいいかわからない。」などの意見が出てきました。そのように感じたとしても、行われている行為がいじめだと感じたならば、勇気をもっていじめがなくなるようにアクションを起こしてほしいと思います。

いじめの状況をつくらなくするために、私たちはどうすればいいかも考えました。「直接的に注意する。」「友達にいじめをやめさせたいという気持ちを相談し、いじめをよく思わない仲間をつくり、集団で注意したり、いじめを許さない雰囲気をつくったりする。」「止めに入れなかったとしても、いじめられている人の話を聞いてあげるなどして裏から支えてあげる。」「大人に相談したり、いじめアンケートに記入したりする。」などの意見が出てきました。

自分が生活する社会の中で悲しむ人がある状況は、自分にとって心地よい状況ではないと思います。まず、いじめが起きていることに気づける感覚を持てることが大切です。そして、気づいたら、何とかしなければいけないと思える人になってほしいです。さらに、自分の行動で良くない状況を変えようとする「救済者」になってください。それが、自分が幸せに生きることができるようになる社会をつくることになるのだと思います。変えるのは、自分です。

【長谷川】

学年の先生のつづやき ～今週は宮澤先生より～

みなさんは食べることは好きですか？美味しいものを食べているとき、私たちの脳からは「ドーパミン」という“幸せ”を感じるホルモンが出ます。「食べる」という行為は、必要な栄養を体に取り入れるということだけでなく、老化を防いで美しさを保ったり、病気を予防したり、集中力を上げるなどといった様々な役割があります。

しかし、最近の給食の様子を見ていると、「減らして！」と言っている人が多く、給食終了後もかなりたくさんの方が残したものを食缶に戻しています。残飯の量は果たしてどれぐらいなのだろうか…気になり調べてみました。

ひばり中全体で4月は1ヶ月で336.9kg、5月は504.3kgもの残菜があったそうです。牛乳だけでも1年生は4月94本→5月145本→6月184本が残っており、かなり多いです。1年生の残乳量はなんと、3年生の約3倍にもなっていました。

今日本では「食品ロス」が大きな問題となっています。“食べられるのに捨てられる”食品。食料を大量に生産、輸入しているのに、その多くを捨てている現実があるのです。一方で世界では約8億人以上の子どもが十分な量の食べものを口にできず、貧困に悩まされています。

満足のいく量の食事をいただけることは本当にありがたいことであって、当たり前ではありません。作ってくれた人への感謝の気持ちを忘れずに、苦手な物も一口から！ぜひ学年全体で残飯・残乳の量を減らしていきましょう。

保護者の方への連絡

2学期の学校給食・家庭弁当選択申込書の提出が7月7日（水）締切となっています。書類をご準備いただき、専用の封筒に入れ、押印またはサインをして提出をお願いします。なお、こちらは全員が提出することになっております。家庭弁当を選択される場合でも、申し込み用紙・封筒はご提出ください。

<来週の予定>

7/5(月) ①学活 1学期の振り返り

中学校生活の最初の1学期間はどうだったでしょうか。自分自身。そしてクラス全体の様子について振り返りをしていきます。良かった点や改善点について、意見が出せるよう、準備をしておきましょう。

7/7(水) ⑤総合 川越校外学習 コース検討②

6/25(金)にコース検討①でそれぞれが行きたいところを出し合いました。そこから、どのような順番・ルートで行動するかを検討していきます。

7/9(金) ⑥ 総合 川越校外学習 決まり確認・コース検討③

6/14(月)に各クラスで行った決まり討議で出た質問・意見について、実行委員会で検討がなされました。その内容について確認をします。また、コースを決定し、かかる費用を算出します。

日	曜	給食	1	2	3	4	5	6	学校行事等
5	月	○	学	○	○	○	○	○	全校朝礼
6	火	○	○	○	○	○	○	○	
7	水	○	○	○	○	○	総	一	職員会議
8	木	○	○	○	○	○	○	○	避難訓練
9	金	○	○	○	○	○	○	総	
10	土								